

第 8 回木材保存技術奨励賞

「加圧注入用プロペンタホス・アゾール系木材防腐剤の開発について」

石井陽一郎（株式会社コシイプレザービング）

昭和 61 年 3 月京都府立大学農学部林学科を卒業し、同年 4 月株式会社コシイプレザービングに入社、その間昭和 61 年 4 月～62 年 3 月には京都大学木材研究所高耐久性木材開発部門に出向、研究室課長を経て、現在に至る。

業績概要

クロム・銅・ひ素化合物系（CCA）加圧用防腐・防蟻薬剤の代替として、ACQ や CuAz 等の銅系薬剤、ナフテン酸銅、まナフテン酸亜鉛、バーサチック酸亜鉛、アルキルアンモニウム系化合物等が、ここ数年間で企業を中心に開発されてきました。これに伴って、性能はもちろん、使用場所、用途、目的に応じてユーザーの希望にかなう薬剤の選択肢が増えて来ました。

このような状況の中で、新しい加圧用防腐・防蟻薬剤として、重金属を含まない有機合成殺菌剤及び殺虫剤を配合した SB-150ME 剤（プロペンタホス・シプロコナゾール）の開発を（株）エス・ディー・エスバイオテックと共同で行いました。

今後の取り組み

本薬剤は、諸般の事情により未だ実用化されるには至っていませんが、重金属を含まない次世代の加圧用防腐・防蟻薬剤として有望であると確信しています。

主な成果報告

1) 石井陽一郎，山下和博，三上憲治，前田恭宏：加圧用防腐・防蟻薬剤 SB-150，日本木材保存協会第 11 回年次大会講演要旨集，1-10 (1995).

（「木材保存」誌に受賞の記事が未掲載だったため、第 14 回日本木材保存協会年次大会要旨集（1998.5）の第 8 回木材保存技術奨励賞講演要旨より、事務局が 2018 年 6 月に作成）